

情報公開内容

凍結療法術前のリピオドールマーキングの有用性に関する研究

1. 研究の対象

2016年3月～2019年3月に当院で腎癌に対して凍結療法を受けられた方

2. 研究目的・方法

腎癌に対する凍結療法は本邦において近年新たに保険収載された治療法である。CT透視ガイド下で行われることが一般的であるが、単純CTでは腎癌と腎実質との境界は不明瞭であり、腫瘍の範囲を正確に把握できない。よって凍結療法術前にリピオドールマーキングを行うことによってCTで腫瘍を認識しやすくさせることで治療を容易にさせる。今回我々はリピオドールマーキングの有用性を評価することが目的です。研究期間は倫理委員会承認日から2019年3月31日までとする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

腎癌に対する凍結療法術前のリピオドールマーキングの有用性を検討します。調査項目は、患者の性別、年齢、採血データ、画像所見(CTなど)、臨床情報(既往歴、現病歴、合併症、臨床経過など)です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部附属病院 放射線科

担当者:特任助教 梶原賢司

連絡先電話番号:088-880-2367

研究責任者：高知大学医学部放射線医学講座 山上卓士